

令和2年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
作業技術研究会 開催要領

東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会
農研機構東北農業研究センター
水田作研究領域長（部会長） 佐藤百合香
生産基盤研究領域長（副部会長） 迫田登稔

1. 趣 旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域における作業技術に係わる試験研究の適切かつ円滑な推進を図るため、当地域の重要問題を摘出し、試験研究課題の設定並びに効率的な研究推進のための計画及び分担・協力関係を協議するとともに、研究成果の取扱いについて総合的な検討を行う。

スマート農業実証事業が令和元年度から開始され、東北各県で取り組まれている。各県での取り組みの現状について報告を受け、現時点での課題や解決方法等について議論する。

2. 開催日時

令和3年1月26日（火） 13：20～17：00
1月27日（水） 9：00～12：00

3. 開催場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター）会議室501
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 （電話 019-606-1717）

4. 検討議題

1月26日 13：20～17：00

1) 開会・挨拶

2) 重点検討事項「東北地域におけるスマート農業加速化事業の取り組みの現状と課題」
話題提供

(1) 津軽半島北部における自動水管理装置による冷害回避のための水管理技術の実証

青森県産業技術センター 農林総合研究所作物部 千葉 祐太

(2) 秋田県におけるスマート農業実証プロジェクトの取り組み

秋田県農業試験場作物部 高橋 裕則

(3) 岩手県におけるスマート農業実証プロジェクトの取り組み

岩手県農林水産部農業普及技術課 横田 紀雄

(4) 各県及び東北農研からの話題提供

(5) 総合討論

1月27日 9：00～12：00

3) 令和2年度研究成果情報候補の検討

4) 現場段階での重要な技術的課題の検討

5) 「最新農業技術・品種2022」候補の選定

6) 令和3年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換

7) その他

5. 参集範囲

東北農政局担当官、東北地域6県公設試関係者、同行政・普及部局関係者、大学関係者、農研機構等国立研究機関関係者、関係するアドバイザーボード委員、その他部会長が必

要と認めた者

6. 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染防止のため、以下の点についてご承知おきください。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、オンライン会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。
- ・参加人数は収容人数の概ね 50%以下を目安としておりますので、出席者の人数を調整する場合があります。
- ・発熱や咳が続いている方、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等の新型コロナウイルス感染症の可能性を疑われる症状がある方、政府から入国制限や入国後の行動制限が必要とされている国・地域等より帰国して 14 日を経過していない方は、出席をお控えください。
- ・会場の入口にて検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ・出席する方は各自マスクをご持参いただき、会議室内等での着用をお願いいたします。また、咳エチケットをお守りください。
- ・会場入口に消毒液を用意しますので、入退室時の手指の消毒をお願いいたします。
- ・出席者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることご承知おきください。

7. 連絡先

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平 4
農研機構東北農業研究センター生産基盤研究領域 作業技術グループ長 長坂善禎
TEL:019-643-3535 FAX:019-641-7794 E-mail:zentei@affrc.go.jp